

～ “Heart” of Japan セカンドステージ ～

# あいち観光戦略 2021-2023

あいち「ツウ」リズム™を推進し、独自の強みを発揮する「観光県」



---

AICHI-NAGOYA



## 愛知県観光PR用ロゴマーク

### 〈コンセプト〉

愛知県は、地理的にも日本の中心に位置していることに加え、日本一のTechnology（技術）とTradition（伝統）を誇る産業の中心地です。愛知は、いつの時代も未来を拓く中心地であり、人間にたとえれば心臓部・“Heart” といえます。また、“Heart” は愛知の「愛」でもあります。

---

「あいち観光戦略2021-2023」は、愛知県観光振興基本条例（平成20年条例第48号）第9条第1項の規定に基づき、観光振興に関する基本的な計画として定めるものです。

## あいち観光戦略2021-2023の概要

### 1 基本的な事項

#### 戦略の目的

愛知県観光振興基本条例が掲げる「魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上」に向けて、観光関連産業の振興を図る。

#### 戦略の位置付け

- ① 条例に定める「観光振興に関する基本的な計画」。
- ② 「あいちビジョン2030」の観光振興分野の個別計画。

#### 戦略の期間

2021年度～2023年度(3か年)

## 2 愛知の観光を取り巻く状況

### 2030年頃の社会経済情勢の展望

- ◆ 人口減少の進行・人生100年時代の到来
- ◆ 第4次産業革命の進展
- ◆ 価値観・ライフスタイルの多様化
- ◆ リニア開業による首都圏と中京圏の一体化
- ◆ 世界経済の多極化と海外旅行者数の増加
- ◆ SDGsの理念の定着
- ◆ 大規模な自然災害のリスクの増大や感染症への意識の高まり

### 2030年頃までの大規模事業・プロジェクト

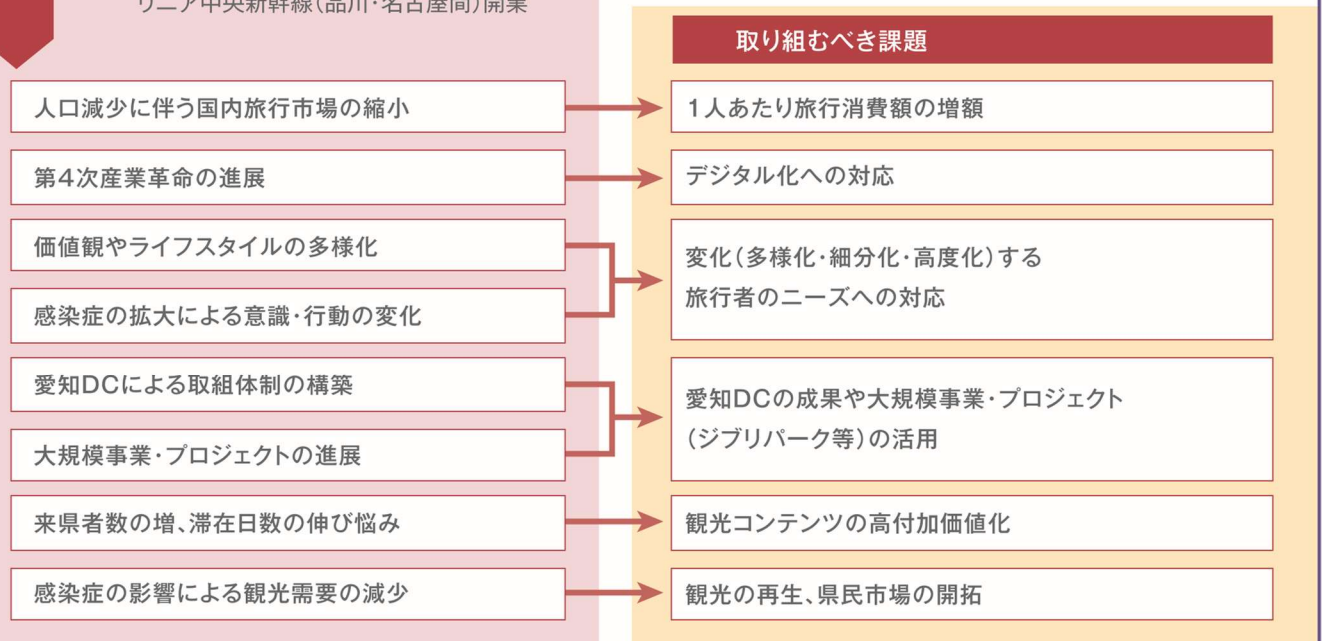
- ◆ 2021年  
東京オリンピック・パラリンピック開催
- ◆ 2022年秋 ジブリパーク開業
- ◆ 2025年 大阪・関西万博開催
- ◆ 2026年  
第20回アジア競技大会  
(2026/愛知・名古屋)開催
- ◆ 2027年度  
リニア中央新幹線(品川・名古屋間)開業

### 観光の質的・量的変化

- ◆ 訪日旅行者の地方への拡散
- ◆ 個人の趣味・嗜好の多様化・細分化・高度化と旅行のニーズの変化
- ◆ 旅マエ・旅ナカ・旅アトのすべての段階におけるデジタルの台頭
- ◆ 新型コロナウイルス感染症による旅行需要の急減と旅行スタイルの変化

### 「あいち観光戦略2016-2020」の評価・課題

- ◆ 県内各地における観光への取組の加速
- ◆ 訪日旅行者の増加
- ◆ 愛知デスティネーションキャンペーン(愛知DC)によるレガシイの創出
- ◆ 大規模事業・プロジェクトの進展による観光振興
- ◆ 滞在日数や魅力度の伸び悩み
- ◆ 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光の再生



### 取組の方向

- ◆ 愛知ならではの多様な魅力を「ツウ」な魅力\*として磨き上げ、デジタルも活用した的確なマーケティングにより、多様化する旅行ニーズに対応しつつ、観光コンテンツとしての高付加価値化を図る。
- ◆ 魅力ある地域資源、充実した広域交通基盤、世界有数のモノづくり産業の集積など、愛知の独自の強みを活かし競争力の向上を図る。

※「ツウ」な魅力：誰でも、何度でも楽しめる奥深い魅力

## 3 目指すべき姿

### ～ “Heart” of JAPAN セカンドステージ ～

あいち「ツウ」リズム<sup>TM</sup>を推進し、独自の強みを発揮する「観光県」

4 施策立案・実施にあたっての基本的な方針

独自の魅力・強みの強化

- ◆ 愛知ならではの資源の深掘り・磨き上げ
- ◆ ジブリパーク開業効果の活用
- ◆ リニア開業効果の活用の検討

EBPMの実践とデジタルの活用

- ◆ エビデンスに基づく施策立案・実施と分析・評価
- ◆ デジタルを活用した効果的なPR・プロモーション  
との確な効果測定等

地域連携・県民参加とSDGsの実践

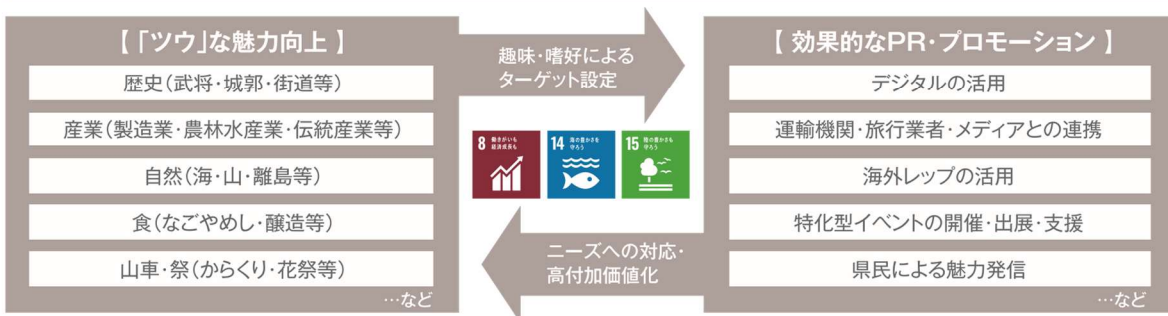
- ◆ 市町村や地域の観光関係団体との連携
- ◆ 県民参加の促進
- ◆ 多様な主体との連携
- ◆ SDGsの理念に基づく持続可能な観光の実現

ウィズコロナ・ポストコロナへの適応

- ◆ 新しい生活様式・新しい旅行スタイルへの対応
- ◆ 観光の再生に向けた取組

5 施策の柱

① あいち「ツウ」リズム™の推進



② 受入れ体制の整備・充実

- ◆ 多言語化の促進等による利便性の向上
- ◆ 多様な宗教・信条等への対応支援
- ◆ 多様な旅行・宿泊ニーズへの対応
- ◆ ユニバーサルツーリズムの推進
- ◆ 旅行者の安全・安心の確保



③ 観光交流拠点としての機能強化

- ◆ 周遊観光・広域観光の推進
- ◆ 航空路線・外航クルーズ船の誘致
- ◆ モビリティ・マネジメント
- ◆ 交通インフラの整備



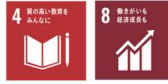
④ MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expoの活用

- ◆ 国際会議・展示会の誘致・開催
- ◆ イベントの誘致・開催
- ◆ インセンティブツアーの誘致
- ◆ スポーツ大会の招致・開催



⑤ 持続可能な観光の実現

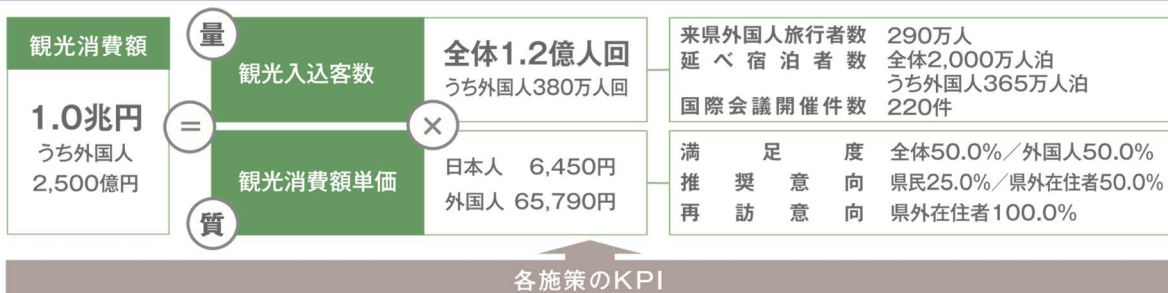
- ◆ 「日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)」の普及
- ◆ 観光人材の確保・育成
- ◆ 観光イノベーションの促進
- ◆ 取組体制の構築



⑥ ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

- ◆ 安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客
- ◆ 旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

6 数値目標



各施策のKPI

7 体制推進





# あいち「ツウ」リズム™の推進とは

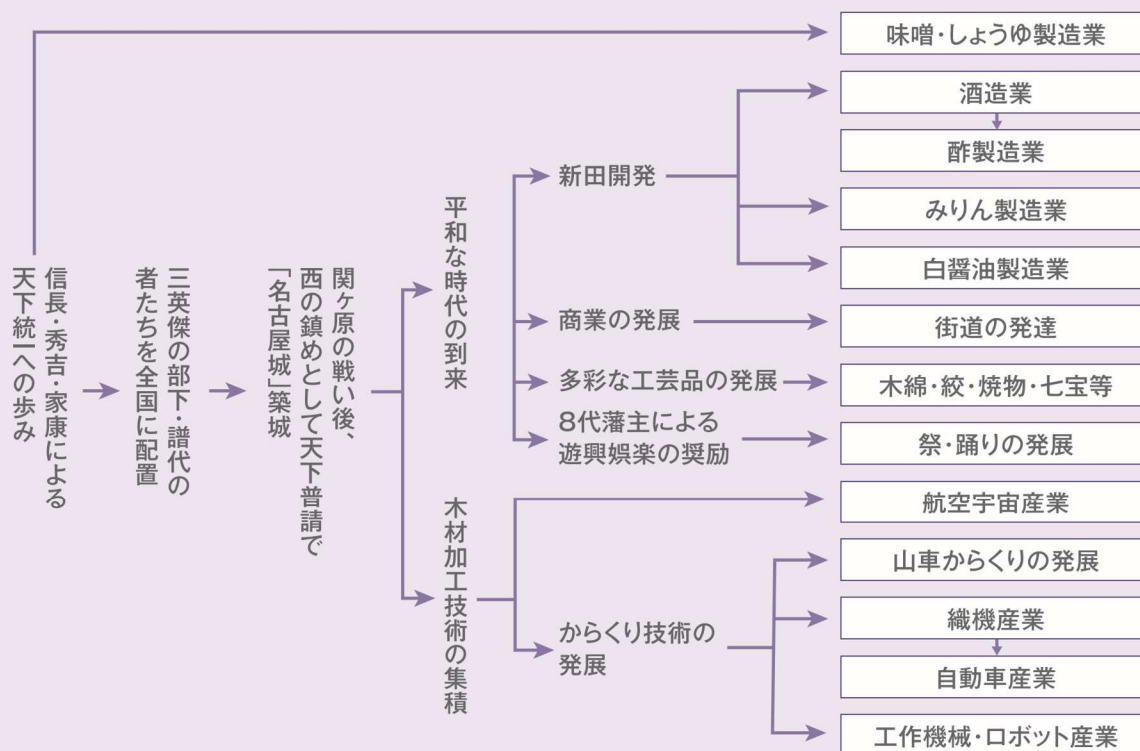


愛知はモノづくり県と言われるけど、  
観光面では、どんな魅力があるの？

モノづくりはもちろん、農業や3次産業も  
全国トップレベルにある愛知県には、地域の歴史・  
産業・自然・文化等に根差した本物の魅力があります。



例：今につながる愛知のモノづくり文化は、地域の歴史に根差しています。



三英傑の部下・  
譜代の者たちが  
日本各地の藩祖に

武将のふるさと  
愛知

名古屋城築城

モノづくり・  
独自の文化の発展

海も山もある  
豊かな自然

魅力ある  
山村・離島

戦国時代以降の壮大なストーリーと  
豊かな自然に根差した愛知県の地域資源は、  
その道の「ツウ」な人には、  
たまらない観光コンテンツになり得ます。





そこで、地域の歴史・産業・自然・文化に根差した資源に加え、最新技術から生まれる資源も積極的に取り込んだ観光に取り組むことで、県民生活を向上させ、持続可能な地域をつくっていく、最先端の観光「あいち『ツウ』リズム」を推進していきます。

## ■愛知の多様な魅力の例



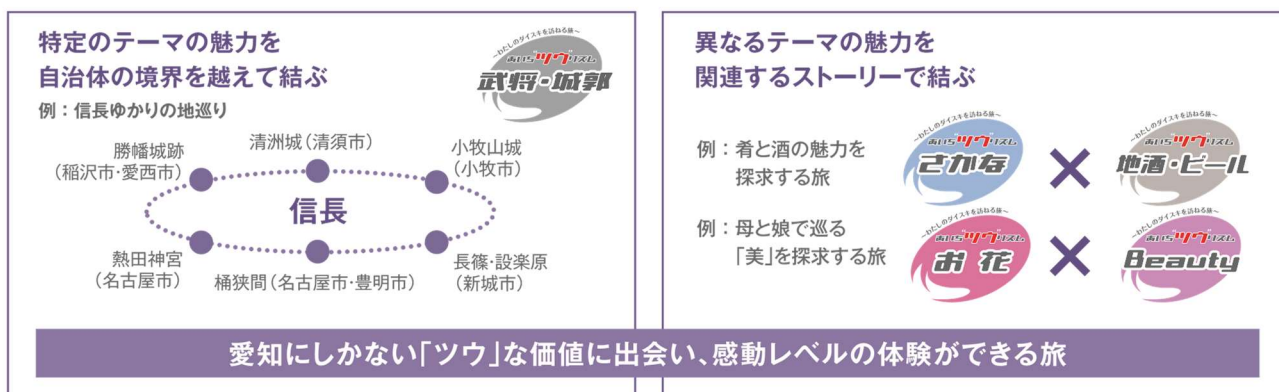
## ■あいち「ツウ」リズムの推進方法

- 1

  - 愛知ならではの多様な地域資源を「ツウ」な魅力として磨き上げ。
  - そのテーマに詳しい知識を持つ旅行者でも満足できるよう、表現の方法や説明の仕方等を工夫。
- 2

  - 各テーマに関心を持つ国内外のターゲットに最適な手段で情報発信。
- 3

  - 滞在時間の延長や周遊、再訪意向の向上へ。



## ■あいち「ツウ」リズムの推進のために必要な取組

県民	県内の魅力再発見と発信、コンテンツの質・おもてなし向上への関与
多様な事業者	観光の活用、コンテンツの質・おもてなしの向上
市町村・観光関係団体	受入れ体制の整備、地域内の主体の連携の推進
県	多様な主体の連携の推進、各主体が活躍できる場づくり

# あいち観光戦略 2021-2023

---

2020 年 12 月 7 日策定

2021 年 1 月 25 日発行

作成・発行

愛知県観光コンベンション局観光振興課

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

TEL.052-954-6353 FAX.052-973-3584

メール kanko@pref.aichi.lg.jp

<https://www.pref.aichi.jp/kanko/>







